

笑顔いっぱい

冬号
(第62号)

発行日/令和2年2月1日

発行・編集

福島生協病院広報委員会
広島市西区福島町1丁目24番7号
TEL 082-292-3171(代)

ホームページアドレス

<http://www.hch.coop/fukushima/>

2020年新年のご挨拶

福島生協病院 病院長 北口 浩

昨年も患者様のために医療・経営の課題や目標の達成に全力を挙げた年でした。おかげをもちまして無事に新年を迎えました。地域の組合員、ボランティアの方々、職員をはじめ多くの方々のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

少子・超高齢社会における「地域共生社会」も言われて久しく、医療や介護の分野では地域包括ケアシステムの構築が進められています。とりわけ生活協同組合の取り組みは、「生協が行う地域福祉の先駆的な取組事例」として厚生労働省からも関心を得ています。地域の皆様が住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指す医療福祉生協の役割を果たせるよう、引き続き精進して参ります。

医療を取り巻く情勢では、医療費の適正化の名の下で、いのちを守り救う医療から国民を遠ざけるような政策が続いています。昨年は、社会保障費の充実・安定化に使うためと消費税率が引き上げられましたが、反して「健康格差」や「貧困」の広がりがより深刻なものになることが懸念されます。

当院は、誰もが安心して医療を受けることができる、無差別平等の医療の実践に努めています。創立以来、「差額ベッド代」はいただいていることその実践のひとつです。

世界では「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、多くの組織が意欲的な取り組みを始めています。SDGsの「誰一人取り残さない」という理念は、無差別平等の医療や生活協同組合の理念にも合致しています。当院も「健康格差」や「貧困」といった社会全体の課題に働きかけを強めていくことが重要と考えています。

提供する医療・介護の質を高めつつ、地域の皆様の健康増進活動を支える取り組みを強化し、「健康の社会的決定要因 (SDH)」の視点を持った医療活動も進めたいと思います。

健康づくりを支援する健診では「健康寿命」を延ばす活動を進めます。外来では慢性疾患医療を主柱とし「かかりつけ医」機能を整備します。入院では急性期の一般病棟、回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟を「地域の病床」としてフル活用し、地域の医療ニーズに応えたいと思います。在宅支援病院として複数の医師が担う在宅医療を当院近隣の開業医の先生方とも協力して引き続き強化します。西区医師会の進める在宅あんしんネットの取り組みでは在宅の後方支援病院としての役割を果たしてまいります。広島市より西区医師会に委託された「医療介護相談窓口事業」「認知症初期集中支援事業」も中心的役割に努め、地域医療を支えてまいります。

「被爆・貧困・差別」のなか、安心して診てもらえる医療機関を求める地域住民の声により設立され、今年で65年になります。職員一同、歴史と伝統を引き継ぎ、ヒロシマの医療機関として「平和」を求めつつ、新たな時代の課題の解決に向けて全力を尽くします。



「西区の薬剤師による連携の強化 (ポリファーマシー対策など課題から)」

福島生協病院 薬剤部長 山崎 弘男

「ポリファーマシー」という言葉を耳にされたことがありますか。多くの薬を飲んでいる状態と捉えられることが多いのですが、本来は様々な要因によって必要以上の薬を使用している状態を示し、対策を興じてそれを解消することが求められています。

現在、厚生労働省では医療費削減のためにもポリファーマシー対策を薦めています。多剤併用の解消などにより医療費の削減や、過剰な効果や薬剤相互作用による副作用の回避にも繋がると考えられているからです。

具体的なポリファーマシー対策として、保険薬局では窓口で患者様に直接尋ねたり、お薬手帳から複数の医療機関を受診することで同効薬がダブっていないか、また薬の飲み残しがないかなどを確認しています。病院では保険薬局と同様に服用されている薬を確認し、検査値から肝・腎機能をチェックし、薬剤の用法・用量が患者様にとって適切かなどを確認し、医師に減薬の提案を行っています。また減薬後の患者様の状態も確認しています。

当院で特に力を入れているのは退院時に薬剤管理サマリー（薬剤の情報が記載されたもの）を渡すことです。ご家族や入居されている施設や保険薬局、転院先の医院などに薬剤の変更や減薬についての情報を伝えられるので服薬の引継ぎをスムーズに行うことができます。

この取り組みをさらに強化する為、西区にある荒木脳神経外科、梶川病院、草津病院、長崎病院、当院の5病院の薬剤師が中心となって「ひろしま西おくすりネット」を立ち上げました。

現在は5病院に加え保険薬局も参加し、様々な課題について意見交換を行っています。その中で保険薬局からポリファーマシー対策として減薬を処方医に提案をすることが難しいとの意見がありました。病院の薬剤師と連携があれば問い合わせがしやすいため今後も連携が必要であること、また薬剤管理サマリーの内容が各病院でバラバラなため返書についての様式も含め統一したものの作成が必要と考え検討しています。

「ひろしま西おくすりネット」では患者様の薬を通して、病院・医院、施設、保険薬局の連携を強化することでポリファーマシー対策へ繋げていくことや各専門分野の方を講師に勉強会を開くことで西区の薬剤師の連携や個々のレベル向上を目指しています。

ポリファーマシー対策は、医師や薬剤師だけではなく様々な職種による取り組みが必要です。私たち薬剤師も患者様のため、これからも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

こんにちは！ご近所のクリニック紹介

内科、循環器内科と総合診療科、地域の皆様に信頼される医療をめざす

石橋クリニック 院長 石橋 寛先生

〒733-0037 広島市西区西観音町23-18（駐車場 4 台あり） TEL.082-942-5557

- ◆診療科……………内科、循環器内科、総合診療科
- ◆外来受付時間… 8時30分～12時30分、14時30分～18時(水・土曜日は8時30分～12時30分のみ)
- ◆休診日……………水・土曜日午後、日曜日・祝日
- ◆診療設備……………一般X線検査、心電図検査
超音波検査：心臓、頸動脈、腹部、甲状腺
脈波ポリグラフ：血管のつまり、血管年齢など→閉塞性動脈硬化症のチェック
SASポリグラフ：睡眠時無呼吸症候群（SAS）のチェック
呼吸機能検査：呼吸機能、肺年齢など→肺気腫（COPD）のチェック
ホルター心電図検査：各種不整脈、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）のチェック
胃カメラ検査：食道・胃・十二指腸疾患のチェック

- Q. いつ開業されましたか？
- A. 平成28年（2016年）10月12日です。開業して3年がたちます。
- Q. 開業されてこれまでのことを教えてください。
- A. 開業前は病院の勤務医で外来や入院を診ていましたが、開業してからは外来診療にプラス訪問診療を行うようになり、地域医療を実感する日々です。
- Q. クリニックで力を入れていることを教えてください。
- A. 地域の医療に尽力したいと思い、訪問診療に力を入れています。地域の方々が安心してその地域で生活できるよう、医療・介護の両面から患者さんをしっかりと支え、地域から信頼される医療を提供させていただきたいと思っております。
- Q. 日常診療で大切にされていることを教えてください。
- A. 患者さんの訴えをじっくり聴いて診察することを大切にしています。当院では、患者さんの健康全般に関する支援をしたいと思っています。具体的には、患者さんの健康を最も理解した医療の専門家として、長期的な関係を重視しています。また、医療の専門家として、専門外の疾病については、他医院の専門医を迅速に紹介するようにしています。そして、患者さんの納得のいく治療のため、じっくりとお話を聞き、丁寧に治療の説明を行うよう心がけています。
- Q. 当院に一言お願いします。
- A. 福島生協病院さんには、いまでも多くの患者さんの入院や検査などの紹介を受けていただき、大変助かっています。特に、診察中の患者さんを病院で診てもらいたいと急ぐときは「すぐに来て下さい」と快く受けていただくのがありがたいです。今後ともよろしく願いいたします。



私たちは、患者さんの立場に立った医療を実践します。

基本理念

基本方針

1. インフォームド・コンセント（説明と意思決定）を重視し、信頼される医療を提供します。
2. 教育・研修活動をすすめ、医療、看護、接遇の向上につとめます。
3. 地域の人々とともに、医療、福祉、介護のネットワークづくりをすすめます。